

余暇・観光の健全な発展と魅力的な地域生活空間の創出

研究の概要

私たちの生活のなかで観光という活動がもつ意味を労働との関係において捉える研究を行っています。観光は国力向上や衰退する地方経済を活性化する手段として大きな期待を集めているため、観光をする人への期待はどれだけ「消費」をしてくれるかに偏りがちです。しかし観光は人間の自己成長や他者理解に大きな影響を与える活動であり、それは現代社会においては生活全般や生き方の選択にもつながりうるものです。そうした観点から観光という活動を捉えなおし、健全な社会の発展に資する観光のあり方を探ります。

また、そうした観光の発展に相応しい地域空間づくりも研究課題です。観光活動とともに人びとの日々の生活が営まれる場としての空間を安全・安心で快適かつ魅力あるものとするために、居住者をはじめ関係者がつくり、利用し、楽しむ仕組みや政策を研究しています。

こんな課題解決のために

余暇・観光は人間の主体的、かつ自由な活動です。余暇・観光はこれまで大きな発展を遂げてきましたが、他方でその健全な発展を阻害する要因や解決すべき課題は多く残されています。たとえば、観光は裕福な層がよりその恩恵に与る傾向があることや、観光を通じて先進国が発展途上国の諸資源を搾取するといった不平等・不公正が存在します。自分の自由を実現するための基本条件として、他者の自由を阻害しないことが不可欠であるという観点に立てば、観光が孕む不平等や不公正にもっと敏感でなければなりません。日本にも多くの不平等や格差、不公正が存在しています。生活や観光を通して、こうした諸問題を捉え、解決に取り組むことが、より平和で豊かな世界の実現にむけた一歩となることを目指しています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

- ・観光資源発掘と観光マップの作成および助言
- ・民泊実態調査・空き家調査
- ・和歌山の地域資源発掘とその発信プロジェクト
- ・余暇空間・緑地管理に対する助言・提言
- ・都市開発・都市空間管理に対する助言

研究者からのメッセージ

Tourism for all.

すべての人が幸せになる観光を目指して、何ができるか考えていきます。

研究分野 : 都市居住政策, 都市計画, 観光学

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学観光学部 観光学科・教授・堀田祐三子

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp